

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2021

NATIONAL  
BALLET  
OF JAPAN  
New National  
Theatre, Tokyo

新国立劇場  
バレエ団

The National Ballet  
of Japan

RYUUGUU  
The Turtle Princess



竜宮 りゅうぐう ~ 亀の姫と<sup>とき</sup>季の庭 ~

2021.7/24(土)12:30/16:00、25(日)12:30/16:00、26(月)12:30/16:00、27(火)12:30/16:00



新国立劇場

オペラパレス—OPERA PALACE

芸術監督: 吉田 都 Artistic Director: YOSHIDA Miyako

演出・振付・美術・衣裳: 森山開次 Choreography, Set and Costume Design by MORIYAMA Kaiji

音楽: 松本淳一 照明: 榑田晃代 映像: ムーチョ村松 音響: 仲田竜太

後援: 渋谷区教育委員会 / 東京都公立小学校長会 / 東京私立初等学校協会

特別協賛: 京王電鉄株式会社

協賛: 株式会社 小学館 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / 三菱重工機械システム株式会社



【資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu\_c4725@nntt.iac.go.jp

## 日本を題材にした、大人も子どもも楽しめるバレエ・ファンタジー

新国立劇場では、次世代を担う子どもたちが、優れたバレエ芸術に触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施してまいりました。2021年の夏は、2020年に新制作し大好評を得た森山開次による『竜宮 りゅうぐう』を再演します。遊び心溢れる美術や映像とバレエの表現が掛け合わさり、心弾む世界がオペラパレスに広がります。豪華絢爛な竜宮城には、愉快的な海の生き物たちがいて太郎をもてなし、春夏秋冬の美しい四季が堪能できる不思議な季（時）の部屋があります。そして故郷に帰った太郎を待っていた運命とは？日本をテーマにし、新国立劇場で生まれたバレエ・ファンタジーは、お子さまだけでなく、大人のバレエファンにも必見の舞台です。

後援：渋谷区教育委員会 / 東京都公立小学校長会 / 東京私立初等学校協会

特別協賛：京王電鉄株式会社

協賛：株式会社 小学館 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / 三菱重工機械システム株式会社

### 作品について

#### 日本の昔ばなしを テーマにしたバレエ

本作は日本の御伽草子「浦島太郎」をモチーフにつくられ、日本の古典芸能の要素もところどころに散りばめられています。

「御伽草子」では、私たちが知る「浦島太郎」の物語と違い、カメが竜宮城のプリンセスという設定。太郎が竜宮城から帰ってからの結末も、太郎が翁になった後に更なる展開が待ち受けています。

この「御伽草子」の「浦島太郎」を下敷きにしつつ、亀の姫の浦島太郎への愛というストーリーの軸を持ったオリジナルのバレエの物語が出来上がりました。



#### 魅力的な海のキャラクターたちと 想像力膨らむ美術や映像

『サーカス』『NINJA』など、大人も子どもも楽しめるダンス作品を生み出してきた森山開次が、初めてバレエを演出・振付。森山は演出・振付だけでなく、美術・衣裳のデザインも手掛けました。

亀のプリンセスをはじめとして、おもてなし担当のお茶目なフグ、タンゴを踊るイカの三兄弟など、竜宮城には愉快的な海の生き物たちがたくさん！彼らが身に着けたチャーミングな衣裳や、海の中、日本の美しい四季を表現したプロジェクションマッピングの映像も見どころのひとつ。

まさに森山ワールドというべき想像力を掻き立てられる舞台をお楽しみいただけます。

2020年公演より 撮影：鹿摩隆司

## 演出・振付 森山開次からのメッセージ（2020年初演によせて）

新作バレエ『竜宮』は、「御伽草子」の浦島太郎を下敷きにしています。

その物語を読んで私が先ず驚いたのは、助けたカメが竜宮城のプリンセスだったこと。そして一番驚いたのは太郎がお翁（じい）さんになったあと、さらに鶴に変身して亀の姫と再会、最後には鶴亀の夫婦明神（めおとみょうじん）となって人々を守っていったという話です。「なんで鶴に変身するの？」って、子どもたちにもびっくりしてもらいたい、そしてバレエらしいロマン溢れる舞台を皆様にお届けしたいと思っています。「御伽草子」の竜宮城は島、陸の上にあるのですが、このバレエでは海の中に設定し、ふぐやタコ、マンボウなど愉快的な海の仲間たちが登場して太郎をくおもてなしします。

今回は、美術・衣裳までトータルで担当させていただくので、身が引き締まる思いです。でも多くのプロフェッショナルなスタッフがサポートしてくれ、私のプラン、世界観を具現化してくれる、その共同作業がとても楽しい。一人では舞台は作れるものではないことを、改めて感じています。

新国立劇場バレエ団とのコラボレーションは、2019年秋のワークショップから始まりました。私の振付はコンテンポラリー・ダンスに分類されますがオリジナルで、バレエもベースに取り込んでいます。今までは、私が先ず踊ってみせることが多かったのですが、イメージを伝えるだけで「バレエだったら、こういう動きがある」とアイデアを出してくれる。クラシック・バレエの伝統を保ちつつ新しい表現へ挑戦しようとする新国立劇場バレエ団のメンバーの＜創作に対する意識＞は、とても高いと感じています。

この作品にはテーマとして「時」が流れています。竜宮城には、不思議な「季（とき）の庭」があり、一度に春夏秋冬の美しい四季を堪能することができます。太郎が竜宮城にいる間に700年もの年月が経過していました。ふるさとで玉手箱を開けた太郎はお翁（じい）さんになってしまいます。玉手箱には、時が封印されていた、そうこれは「時の物語」なのです。

時とは何か。そして、竜宮城とは何か。なぜ、太郎は故郷に帰ったのか。現代を生きる私たちも「今」という時をどのように生きるべきか、あらためて見つめることができるかもしれません。ダンスや音楽は、時の芸術でもあります。そして舞台は、今を共有できる時の空間。舞台上の一瞬を届けるために、私たちは鍛錬と稽古を繰り返す。

当たり前のようにあった＜舞台のありがたさ尊さ＞をあらためて感じる今。時の感覚も違って感じられます。新国立劇場バレエ団のみんなと、今また創作ができる喜び。どんな『竜宮』が誕生するか、心から楽しみにしています。

森山開次



## ものがたり

【第一幕】むかしむかし ある島に 浦島太郎という心の優しい青年がいました。

ある日、浜辺で子ども達が亀を面白がっていじめるのを見た太郎は、亀を助け、海に逃してやりました。その晩、太郎は、風を切り、光を放ち、大空を飛んでいる不思議な夢を見ます。次の朝、波の中から昨日助けた亀が現われて言います。「お礼に、竜宮城にご招待をさせていただきます。」亀の背中に乗って、いざ海の旅へ出ると、波が二人を運び、魚たちと光がきらめいて、水と空の二重の風景が太郎を包んでいます。

この亀は、竜宮城のプリンセスだったのです。辿りついた竜宮城では楽しい宴が始まり、美味しいお酒と料理、魚たちの歌と踊りで太郎は厚い接待を受けます。とりわけ亀の姫の舞は、妙なる美しさでした。心の優しい太郎に惹かれた姫と太郎は互いに心を寄せ合い、恋に落ちます。そして時は瞬く間に過ぎていきました。

【第二幕】亀の姫と夢のような時を過ごす太郎は、竜宮城に「季（とき）の部屋」があるのを知ります。

その部屋の四方の襖の向こうには、それぞれの四季の庭が広がっていて、四季の美しさを一度に堪能できるのです。長い時間入ってはいけないこの部屋に「少しだけ…」と入ってしまった太郎は、日本の四季に感動し、故郷の美しさをあらためて思い出します。我に返った太郎は「故郷に帰らなければ」という思いを亀の姫に伝えます。泣く泣くその思いを受け入れた姫は、玉手箱を太郎に授け、別れを告げるのでした。「この玉手箱は、竜宮城に受け継がれてきた、大切な宝の箱。あなたへの愛の証をこの箱に閉じこめました。でも、決して開けてはいけません。」

太郎は、再び波に運ばれて海を進み、気がつくや、浜辺に倒れていました。あたりを見回すと、寂しげな気配。そこは、700年の歳月が流れた浜辺でした。人影はなく、老松だけが佇み、子ども達の声も聞こえません。途方にくれた太郎は、抱えていた玉手箱を開けてしまいます。すると、玉手箱から煙が立ち上り、みるみるうちに太郎は老人になってしまうのです。年老いた太郎は、涙しながら全てを受け入れて行きます。「時の流れの中で生きる、限りある命のこと」「すべてを産んでくれた偉大な母なる海のこと」を。そして鶴に姿を変え、大空に飛び立ちます。風を切り、光を放ち、空を飛ぶ明神となった太郎。「あの時みた夢は、このことだったのか！」そこへ、亀の神となった亀の姫があらわれます。亀の姫は鶴の浦島太郎とともに、この島の夫婦明神（めおとみょうじん）として、未来永劫、島の民の守り神となりました。

めでたし めでたし！



## スタッフプロフィール

### 【演出・振付・美術・衣裳】森山開次 MORIYAMA Kaiji



©石塚定人

神奈川県出身。2005年『KATANA』でNYタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。12年新国立劇場『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞ほかを受賞。13年文化庁文化交流使。18年『不思議の国のアリス』全国17都市ツアー、19年『ドン・ジョヴァンニ』でオペラ初演出。NHK教育テレビ「からだであそぼ」、日本ユニセフ協会「世界手洗いダンス」など幅広く活躍。新国立劇場では15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』でも演出・振付・アートディレクション・出演。世代を超えて多くの観客を魅了し続けている。

<http://kaijimoriyama.com>

## 配役・プロフィール

2021年 7月	24日 (土) 12:30	24日 (土) 16:00	25日 (日) 12:30	25日 (日) 16:00	26日 (月) 12:30	26日 (月) 16:00	27日 (火) 12:30	27日 (火) 16:00
プリンセス 亀の姫	米沢 唯	池田理沙子	木村優里	柴山紗帆	池田理沙子	米沢 唯	柴山紗帆	木村優里
浦島太郎	井澤 駿	奥村康祐	渡邊峻郁	速水渉悟	奥村康祐	井澤 駿	速水渉悟	渡邊峻郁

### 【プリンセス 亀の姫】



#### 米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオで学ぶ。サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年D.ピントレー『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。20年芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞多数。



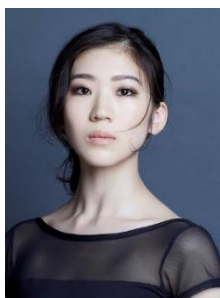
#### 池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ピントレー『アラジン』で主役を踊り好評を博している。



#### 木村優里 KIMURA Yuri <ファースト・ソリスト>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校、新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、同年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『眠れる森の美女』『ジゼル』『白鳥の湖』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリストに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。



**柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <ソリスト>**

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『シンデレラ』『ラ・バヤデー』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』の主役のほか、『眠れる森の美女』フロリナ王女、『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。『竜宮 りゅうぐう』は今回が初主演となる。

**【浦島太郎】**



**井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>**

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレール『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精・ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助を受賞。



**奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>**

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』主役のほか、W.イーグリング『くるみ割り人形』ねずみの王様、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロル役などを初演している。



**渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>**

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコーなどを踊り好評を博している。



**速水渉悟 HAYAMI Shogo <ソリスト>**

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、『ラ・バヤデー』黄金の神像、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、『ライモンダ』アブデラクマンなどを踊る。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、好評を博した。『竜宮 りゅうぐう』は今回が初主演となる。

## 公演概要

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2021

「竜宮 りゅうぐう」

～亀の姫と<sup>とき</sup>季の庭～

Ballet for Children 2021

"RYUUGUU - The Turtle Princess"



芸術監督	吉田 都
演出・振付	森山開次
音楽	松本淳一
美術・衣裳デザイン	森山開次
映像	ムーチョ村松
照明	櫛田晃代
音響	仲田竜太
出演	新国立劇場バレエ団

### 【公演日程】

2021年7月24日（土）12:30

2021年7月24日（土）16:00

2021年7月25日（日）12:30

2021年7月25日（日）16:00

2021年7月26日（月）12:30

2021年7月26日（月）16:00

2021年7月27日（火）12:30

2021年7月27日（火）16:00

\* 託児サービスは当面休止いたします。

\* ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は 12:30 公演が開演 45 分前、16:00 公演が開演 30 分前です。

開演後のご入場は制限させていただきます。

\* 本公演は録音音源を使用いたします。

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【主催】新国立劇場

【後援】渋谷区教育委員会 / 東京都公立小学校長会 / 東京私立初等学校協会

【特別協賛】京王電鉄株式会社

【協賛】株式会社 小学館 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / 三菱重工機械システム株式会社

【予定上演時間】約2時間<休憩1回含む>

【全国公演情報】

○2021年9月23日(木・祝) 14:00 大阪府/フェスティバルホール

<お問い合わせ先> TEL:06-6231-2221

【チケット料金(税込)】

こども(4歳~小学生):2,750円 大人(中学生以上):5,500円

\*アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。

【前売り開始日】

○アトレ会員先行販売期間:2021年6月26日(土)10:00~28日(月)

○バレエ/ダンス先行メンバーズ販売期間:2021年6月27日(日)10:00~28日(月)

○一般発売日:2021年7月4日(日)10:00~

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/> (PC、携帯共通)

チケットぴあ <http://pia.jp/t/> (PC、携帯共通)

イープラス <http://eplus.jp/> (PC、携帯共通)

ローソンチケット <http://l-tike.com/> (PC、携帯共通)

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

チケットぴあ TEL:0570-02-9999

ローソンチケット TEL:0570-000-407

\*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

詳細:新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)